沖縄離島バドミントンスクール通信

２号（2011年4月～2012年3月の記録）

発行：沖縄離島バドミントンスクール実行委員会（代表：大見謝恒章）　　発行協力：公益財団法人みらいファンド沖縄

沖縄離島バドミントンスクール　2011年度は**14回開催**できました　ありがとうございました

「離島の子どもたちにバドミントンの講師を派遣」を合い言葉にスタートしたこの「沖縄離島バドミントンスクール」も２年目を終えました。2011 年度は 14 回開催し、通算で 20 回を数えるまでになりました。

離島の子どもたちが、バドミントン競技を通しての達成感や社会性を獲得し、自信を持って社会にはばたけることを願い実施しているこのスクールの、訪問にかかる費用は、公益財団法人みらいファンド沖縄が窓口となって募る寄付で主に支えられており、2010 年７月の寄付募集開始から、多くの方からのご支援をいただいております。さらに 2011 年度はヨネックススポーツ振興財団より助成をいただき、充実した活動をすることができました。

いつも応援くださっているみなさまに御礼を申し上げますとともに、2011 年度の活動のようすをご報告いたします。どうぞ引き続きご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

第１0回 北大東島でのようす（2011.10.28-29）

沖縄離島バドミントンスクールの開催実績

	2011年度	累積（2010年7月から）
バドミントンスクール　開催回数	14回	20回
受講した児童・生徒の のべ人数	573人	727人
派遣した講師・アシスタントの のべ人数	33人	47人
寄贈したシャトルの数	1680球	2160球

>>> この活動を支援する寄付の方法についてはP10をご覧ください。

2011年度　バドミントンスクール開催の記録

第7回	2011 年５月 21,22 日　北大東村立北大東小中学校体育館　　参加人数：小中学生 合計 14 名 講師：大見謝恒章（前国体成年部監督）　アシスタント：祝嶺春俊（南風原町役場）※平成 23 年県総合ダブルス優勝
第8回	2011 年６月 18 日　粟国村立小中学校体育館　　参加者：小中学生 合計 32 名 講師：大見謝恒章　　アシスタント：津嘉山ゆい（社会人選手）
第9回	2011 年７月 13,14,15 日　与那国町立与那国中学校体育館　　参加人数：小中学生 合計 21 名 講師：大見謝恒章　　アシスタント：祝嶺春俊
第10回	2011 年 10 月 28,29 日　北大東村立北大東小中学校体育館　　参加人数：小中学生 合計 16 名 講師：大見謝恒章　　アシスタント：上村浩平（首里中学校３年）※2011 年沖縄県中体連大会シングルス２位
第11回	2011 年 10 月 30 日　南大東市立南大東小中学校体育館　　参加人数：小中学生８名と大人 講師：大見謝恒章
第12回	2011 年 11 月 2,3 日　粟国村立小中学校体育館　　参加人数：小中学生 合計 26 名 講師：大見謝恒章　　アシスタント：津嘉山ゆい
第13回	2011 年 12 月 9,10 日　粟国村立小中学校体育館　　参加人数：小中学生 合計 17 名 講師：大見謝恒章　　アシスタント：津嘉山ゆい
第14回	2012 年１月 14,15 日　粟国村立小中学校体育館　　参加人数：小中学生 合計 28 名 講師：大見謝恒章　　アシスタント：津嘉山ゆい
第15回	（沖縄本島でのチャリティレッスン） 2012 年１月 27,28,29 日　那覇市民体育館、他２カ所　　参加人数：小中学生・高校生 合計 109 名 特別講師：赤尾美代選手（ヨネックス）　　アシスタント：大見謝恒章、仲里弥生（沖縄銀行）、津嘉山ゆい
第16回	2012 年２月 25,26 日　粟国村立小中学校体育館　　参加人数：小中学生 合計 28 名 講師：大見謝恒章　　アシスタント：津嘉山ゆい
第17回	（沖縄本島でのチャリティレッスン） 2012 年３月 10,11 日　那覇市民体育館、うるま市石川体育館　　参加人数：小中学生・高校生・大人 合計 145 名 特別講師：トリッキーパンダース（渡辺哲義監督、山田青子選手、井谷和哉選手）　　アシスタント：大見謝恒章
第18回	（特別レッスン） 2012 年３月 12 日　粟国村立小中学校体育館　　参加人数：小中学生 合計 30 名 特別講師：トリッキーパンダース（渡辺哲義監督、山田青子選手、井谷和哉選手）　　アシスタント：大見謝恒章
第19回	2012 年３月 29,30 日　与那国町立与那国中学校体育館、与那国町立久部良中学校体育館 参加人数：小中学生 合計 36 名 講師：大見謝恒章　　アシスタント：崎原太陽（南風原中３年）※2011 年沖縄県中体連大会シングルス優勝
第20回	2012 年３月 30 日　石垣市立大浜中学校体育館　　参加人数：小中学生・高校生 合計 59 名 講師：大見謝恒章　　アシスタント：崎原太陽

北大東島

スクール開催日	第7回　2011年5月21日（土）～22日（日） 第10回　2011年10月28日（金）～29日（土）

5月には、県社会人ダブルスのチャンピオン祝嶺春俊さん、10月には、県中学生大会準優勝の上村浩平さんが、アシスタントとして同行しました。

▲右が、祝嶺春俊さん

5月の祝嶺さんの回は、やはり県チャンピオンの訪問とあって、練習にとても熱が入っていました。練習試合では、そのプレイを目に焼き付けようと、子どもたちの目は真剣だった、と祝嶺さん。けれど「質問や、試合を申し込むのも遠慮がちだった」との感想も。

▲上村浩平さん

一方、10月訪問した上村さんは、質問もたくさん受けたようです。「基礎的な質問が多かったように思う」と後に報告してくれましたが、同世代だと質問しやすかったのかも。

いずれにしても、いろんな人たちが交流することで、お互いの意識が高まっていくといいな、と二人からの感想をお聞きして思いました。

今年度も北大東のみなさまにはお世話になりました！　また、「北大東バドミントン部父母会」のみなさまにも御礼申し上げます。

南大東島

スクール開催日	第11回　2011年10月30日（日）

南大東島の青年会さんからの「バドミントンの好きな島民がけっこういるので、子どもたちと一緒にレッスンを」というリクエストがきっかけで、講習会が実現。８人の小中学生たちと一緒に大人も受講しました。

南大東島での講習会は今回が初めて、では実はないのです。以前、大見謝さんが出張で訪れた際に、練習会をしたことがあったそうです。今回は、正式にスクールと位置づけて訪島。しかし講習会終了後にようやく「実は前にレッスンを受けました」と言ってくれた子どもがいたとのこと。大見謝さんが言うとおり「南大東島の子どもたちはとってもシャイ」なんですね～。

気軽に始められて、実は奥が深～いバドミントンは、生涯スポーツとして多くの人が楽しんでいます。これをきっかけに、南大東島でもバドミントンが好きな人が増えるとうれしいです！

南大東島のみなさま、ありがとうございました！

▲終了後の記念写真

沖縄本島

スクール開催日	第14回　2012年1月27日（金）～29日（日）	…特別講習会（ヨネックス赤尾美代選手）
	第17回　2012年3月10日（金）～11日（土）	…特別講習会（トリッキーパンダース）

みんなに喜んでもらいながら、離島訪問の資金調達ができないかと考え、沖縄本島でチャリティレッスンを実施しました。いただいたレッスン参加費は、離島訪問の費用に充てさせていただきます。

■ 赤尾美代選手がやってきた！

2012年1月27～29日の３日間、ヨネックス所属の赤尾美代選手をお招き、レッスンを開催しました。

1月27日（金）夜の糸満市内でのレッスンには、高校2校、中学校4校から50名の学生が参加しました。中には、バドミントンスクールが訪問した島（粟国、北大東、与那国）から進学してきた高校生もいて、お話を伺ってみると、今回のチャリティレッスンの主旨を理解してくれていて、とてもうれしかったです。

翌1月28日は、本島中北部の高校2校、中学校2校から、合計39名の学生とのレッスンが行われました。

南部・中北部いずれでも「今までやったことのない練習方法を教えてもらえた」との声をいただきました。

最終日29日は、クラブチーム「那覇ジュニア」のメンバー20名とのレッスンでした。

赤尾さんから伝わってくるのは「バドミントンが好き」という思い。選手として試合をするのはもちろん、子どもたちとレッスンするのも大好きなんだそうです。子どもたちとの練習試合も、指導も、バドミントンに対する真っ直ぐで真剣な姿勢が見え、それが強く印象に残りました。

▲1/30の那覇市民体育館でのようす

ご参加くださった、高校4校、中学校6校、クラブチームのみなさん、また開催にご協力くださいました各学校の先生方、指導者の方々、保護者の方々に、御礼申し上げます。

■ トリッキーパンダースがやってきた！

3月10日～11日に来沖したバドミントンチーム「トリッキーパンダース」は、京都に拠点を置くプロチーム。講師としても、日本全国を飛び回っておられます。

渡辺哲義監督、山田青子選手、井谷和哉選手によるレッスンには、那覇市民体育館で84名、 うるま市石川体育館では61名が参加しました。

さて、右の写真で、講師の渡辺監督が持っているものが、何だかわかりますか？

なんと、右腕の骨格標本。骨です、ホネ。

シャトルを効果的に飛ばすには、腕をどんなふうに動かせばいいのかを、解剖学の観点から解説するため使ったのです。これには子どもたちも、付き添いの先生方もびっくり。

練習方法もとっても多彩。見守っていた先生方も「これは使える…」と何度もつぶやいておられました。こうして練習方法や新しい考え方をもたらしてくれる人を招き、沖縄全体でレベルアップしていくことも、重要だと実感したレッスンでした。

なお、3月10日のレッスンは、沖縄県バドミントン協会さんのご厚意で県の大会の終了後に開催させていただきました。ありがとうございました！

バドミントン 離島へ専門指導者を

本島3会場で慈善教室

参加費募り活用へ

【糸満】少人数でプレー可能なバドミントンに親しむ県内の離島の学校に、専門的な指導者を派遣する沖縄離島バドミントンスクール実行委員会（大見謝恒章委員長）は1月27日から29日まで、本島の3会場でチャリティーレッスンを開いた。レッスン参加費を募り離島への指導費に活用しようとの初の試みで、講師にはヨネックス所属の赤尾美代選手を招いた。3会場で計100人余りが参加し、トップレベルの指導に聞き入った。

中部地区会場で、ヨネックス所属の赤尾美代選手（右）のアドバイスを熱心に聞く参加者＝うるま市内

レッスンを終え、記念写真に収まる那覇地区の参加者＝那覇市識名、那覇市民会館

同実行委は、公益財団法人「みらいファンド沖縄」が設立した「沖縄離島バドミントン基金」の助成を受け活動。これまでに14回、離島に専門の指導者を派遣した。今回はその資金造成の手法を広げつつ、同基金の存在を知ってもらおうと、初めて南部、中部、那覇の3地区で開いた。

糸満市で開かれた南部地区会場では、中学、高校の計8校・50人の生徒が参加。赤尾選手が切れのある動きで手本を示し、生徒たちはレシーブ練習やゲーム形式の練習で汗を流した。

昨年、出身地の粟国村で同事業のレッスンを受けた又吉亜花莉（あかり）さん(16)は糸満高1年生として参加。「島では専門の先生がいなかったので、勉強になった」と振り返った。

那覇西高2年の大城愛さん(17)＝北大東村出身＝は「今日は今まで知らない動きを教えてもらった」と感激。同校の慶田嵩萌さん(17)＝与那国町出身＝は「専門的な指導を島の後輩たちにも見せてあげて、島全体で強くなってほしい」と願った。

国体5度出場の経験を持ち、自らも離島に指導に赴く大見謝委員長(40)は「島の人や子どもたちが喜ぶ姿がうれしい。基金受け入れの機会を増やし、寄付を募って長く続けたい」と語った。

▲沖縄タイムス　2011年2月2日掲載

「勝負のポリシー持って」

バドミントン実業団選手が指導

沖縄離島バドミントンスクール実行委員会（大見謝恒章代表）は27日から3日間、県内各地で実業団チーム・ヨネックス所属の赤尾美代選手を講師に招き、レッスンを行った。中部、南部、那覇地区の小、中、高の選手計109人がトップ選手による指導で汗を流した。

同レッスンは高いレベルの技術に触れる機会が少ない地域に優秀選手らを派遣し、バドミントン指導を通じて児童生徒の健全育成を図ることが目的。同実行委が公益財団法人・みらいファンド沖縄の「沖縄離島バドミントン基金」の助成を受け開催した。熱血指導した赤尾選手は「これで私は勝負したいという、自分のポリシーを持ってもらいたい」と、選手たちを激励した。

南部地区のレッスンを受けた上原和子選手（糸満中）は「ダブルスでの動き方について教えてもらった。習ったことを試合でもやってみたい」と一流技術の会得に意欲を見せた。

記念撮影するバドミントンレッスンの参加者ら＝29日、那覇市民体育館

▲琉球新報　2012年２月１日

五輪代表の技に歓声

粟国小中でバドミントン講習

【粟国】粟国村立粟国小中学校体育館で12日、バドミントン講習会（沖縄離島バドミントンスクール実行委員会主催）が開かれ、小中学生を含む34人が参加した。

公益財団法人みらいファンド沖縄が立ち上げた沖縄離島バドミントン基金の事業で、離島・山間地でバドミントン競技に取り組む子どもたちやその指導者を支援しようと、同基金の創案者の大見謝恒章さんが企画した。

講習会では特別講師として、日本リーグに所属している大阪トリッキーパンダースの渡辺哲義監督と、女子アテネ五輪代表選手の山田青子選手、井谷和弥選手が丁寧に指導。子どもたちは、スマッシュを打つ時のポジションや試合に臨む心構えまで真剣に学んだ。技術指導では、選手のスマッシュに歓声が上がった。

指導した渡辺監督は、「バドミントンを通していろいろな経験を積むことで人生の勉強をしてほしい」と話した。創案者の大見謝さんは「毎月指導に来ることは難しいが、ぜひ離島での講習会を継続させたい」と述べた。

講習会の参加料の500円は全て同基金への寄付に回すという。一口千円から基金への寄付を募っている。問い合わせは同ファンド☎098（884）1123。

（小禄恵梨子通信員）

筋肉の使い方を細かく指導する渡辺哲義監督（右）＝粟国小中学校体育館

▲沖縄タイムス　2012年３月23日

粟国島

スクール開催日	第 8 回　2011年6月18日　粟国村立小中学校体育館 第12回　2011年11月2～3日　粟国村立小中学校体育館 第13回　2011年12月9～10日　粟国村立小中学校体育館 第14回　2012年1月14～15日　粟国村立小中学校体育館 第16回　2012年2月25～26日　粟国村立小中学校体育館 第18回　2012年3月12日　粟国村立小中学校体育館…特別講習会（トリッキーパンダース）

粟国島では、大人も参加できるクラブ「粟国スポーツクラブ」を結成し、そのクラブが獲得した助成金で、11月から当スクールを呼んでくださっています。

粟国の小中学生はシングル・ダブルスともに、いい成績を残しています。それを見ている親御さんや、学校の先生たち大人もバドミントンを始めたそうです。

それだけじゃあ、もったいない！　ということで、小中学生の対象の講習会も、合わせて実施させていただいています。

▲指導する津嘉山ゆいさん（左）

ひんぱんに島を訪れることができ、子どもたちもメキメキ上達していますが、それと同じようにメキメキと指導力を上げているのが、アシスタント講師の津嘉山ゆいさんです。思えば2010年9月に初めて訪島した時は、子どもたちも、津嘉山さんも遠慮がちでした。

けれど、何度も通ううちに、子どもたちも懐いてくれ、津嘉山さんもずいぶん慣れてきました。「自信を持って、アドバイスを言えるようになってきた」と大見謝さん。津嘉山さんの指導者としての成長も楽しみになってきたそうです。

■ 粟国にもトリパンがやってきた！

そして、2012年3月12日は、沖縄本島でのチャリティレッスン開催のためお招きした「トリッキーパンダース」のみなさんに、粟国島に行っていただきました！日帰りでしたが、充実した講習会になりました。

本島での講習会と同様、時折、ホワイトボードを使って専門用語や動作に関する解説が行われる場面が見られました。が、さらに面白い解説が……。

本誌P6 の沖縄タイムスの記事の写真をご覧ください。中学生の男子がひとり、上半身裸になっているのが分かりますか？　なんと、ヒトの身体の筋肉がどんな構成になっているのか、その男子中学生の上半身に、黒マジックで書き込みながら解説されたんです！

トリッキーパンダースの渡辺監督のお話は、プロの選手が学ぶような専門的なことなのに関わらず、とっても分かりやすい。今がんばってもできない動きも、どのように動くようになればいいか、客観的に理解しておくことで、指導者がいない間も正しい方向をめざせるわけです。

▲トリッキーパンダースの講習会の様子

粟国島がすっかり気に入ったトリパンの渡辺監督。「ここで合宿できたらいいなぁ」とおっしゃっていたそうです。実現するといいですね。

粟国島のみなさん、いつもありがとうございます！

与那国島

スクール開催日	第9回　2011年7月8日（金）～10日（日） 第19回　2012年3月29日（木）～30日（金）

与那国島へは、2011年度は2回、訪問しました。いずれも、県チャンピオンを連れての訪問となりました。

7月8～10日には、県総合ダブルス大会のチャンピオン、祝嶺春俊さんが訪問。「やっぱり、現チャンピオンだと子どもたちのテンションが違う」と、元チャンピオンのメイン講師 大見謝さんが、ちょっとスネてました（笑）

3日間の訪島だったのですが、通算13時間半もの練習をしました！　長時間接していると、子どもたちの変化も見えて、指導にあたった二人とも、とても充実したそうです。

そして、2012年3月29～30日は、県中学生シングルスのチャンピオン、崎原太陽さんが訪問しました。この時もまた、帰りの飛行機が出発する直前まで練習が行われたのはもちろん、夜には大人も参加している「ゆのんシャトルクラブ」さんの練習にも参加したそうです。

▲祝嶺春俊さん（右）と与那国島の中学生たち

与那国中学校、久部良中学校をはじめ、両校PTAのみなさま、ゆのんシャトルクラブのみなさま、そして与那国島のみなさま、ありがとうございました！

石垣島

スクール開催日	第20回　2012年3月30日（金）

2012年3月30日の石垣島で、沖縄離島バドミントンスクールでは、６島目の開催を達成しました。

朝8時から与那国島での講習会を実施した、大見謝さんと、今回のアシスタントの崎原太陽さん（南風原中３年。春から高校生）は、 終了後すぐに飛行機に乗って石垣島へ移動しました。与那国島には那覇からの直行便はなく、石垣島を経由するので、その乗り換えの時間を使っての開催 です。4時間ほどの講習会でしたが、とても充実したものになったそうです。

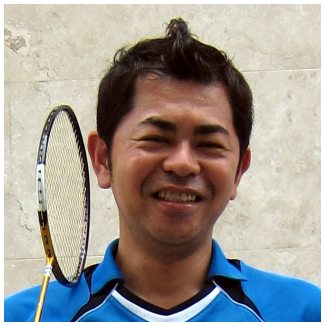
会場は大浜中学校体育館で、大浜中の他、石垣中学校、白保中学校、伊原間中学校、八重山農林高校、合計５校から参加がありました。

さて、今回のアシスタント、崎原さんは、2011年夏の中学生大会の男子シングルスのチャンピオン。その大会が開催されたのが石垣島でした。その時、知り合った中学生たちと再会し、崎原さんはとても楽しそうだったそうです。

後半には、各校から代表を出しての練習試合もしましたが、崎原さんももちろん参戦。この学校対抗戦は、とっても盛り上がったそうです。

石垣島のみなさま、ありがとうございました！

お礼の言葉



沖縄離島バドミントンスクール実行委員会
代表　大見謝 恒章

2010 年からスタートした「沖縄離島バドミントン基金」も、多くの皆様に支えられ無事に２年目を終了いたしました。昨年度は５つの離島及び沖縄本島にて計 14 回の講習会を開催しました。初開催となった南大東島や石垣島、また日本最西端に位置する与那国島、毎回９人乗りのプロペラ機で往復した粟国島など、それぞれ環境の違う場所で継続して講習会を行う事ができたのも、ひとえに関係者の皆様のお力添えがあってこそだと強く感じております。

昨年度（2011 年度）は、皆様からの寄付に加えて「財団法人ヨネックススポーツ振興財団」からの助成金を活用する事で、多くの離島での講習会開催及びシャトルの寄贈活動を行うことができました。また離島のみならず沖縄本島の子供達にも国内トップ選手の指導を体感してほしいとの思いから、2012 年１月にヨネックス株式会社の赤尾美代さん、そして同年３月には日本リーグ所属の「NPO 法人大阪トリッキーパンダース」より監督・選手をお招きして講習会を開催いたしました。講習会での子供達の真剣な表情や、トップ選手のプレーを間近にみた際の驚きと興奮した様子が今でも印象に残っております。

2012 年度は、昨年度同様離島及び沖縄本島での講習会を計画しており、９月にはオリンピック元日本代表選手をお招きしての講習会、そしてオリンピック複数回出場経験を持つ外国人選手による講習会など現在準備を進めております。少しずつではありますが、新しい試みにもチャレンジしていきたいと考えております。

最後になりますが、この基金の立ち上げから今日まで支えて下さった公益財団法人みらいファンド沖縄の皆様、タイフーンｆｍの皆様、各離島にてお世話になった地元の皆様、そして寄付でこの活動を応援くださっている皆様に、心より感謝の気持ちを述べるとともに、本年度もできる限り多くの講習会を開催できるようスタッフ一同努めて参りますので、今後ともご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

寄付をありがとうございました！

法人または団体で寄付いただいた方々のみ、お名前を掲載させていただきます（順不同）

（株）あらかき美容医学研究所、 オリオンビール（株）、 沖縄県バドミントン協会、 沖縄県小学生バドミントン連盟、 那覇市バドミントン協会 有志、 （特活）沖縄ヒューマンバリューヘルスクラブ、北大東バド部父母会、ゆのんシャトルクラブ
個人の方からも、多数寄付をいただいております。

ありがとうございました！

NEWS

■ ヨネックススポーツ振興財団の助成金を獲得！

沖縄離島バドミントンスクール実行委員会では、ヨネックススポーツ振興財団の助成制度に応募したところ、2012 年度の活動に対し、70 万円の助成の認定を受けました。2012 年度も各島を訪問する他、県外からの特別講師の招聘も実施していきます。

沖縄離島バドミントンスクールを、寄付で支援してください！

バドミントンスクールは、「沖縄離島バドミントン基金」からの助成によって実施しています。この基金は、みらいファンド沖縄の「じぶん基金」という仕組みを使って、運営されています。引き続きご支援をお願いいたします！

基金の状況（2010 年７月～2012 年３月）

寄付金総額	930,400 円
助成総額	741,558 円
基金運営費*	139,560 円
次年度繰越残高	49,407 円

*基金運営費とは、広報費、銀行手数料、基金管理事務費などです。

寄付の方法

1. 寄付を申込む

＊ 領収証を希望される方、報告書を希望される方のみ

次の内容を、e-mail または Fax にてお知らせください。

- お振込時に入力したお名前（カタカナ）
  （入力を省略した場合は通帳名義）
- お振込金額
- 領収証の宛名
- 送付先の住所と、宛名

＊ FAX フォームをダウンロードすることもできます。

＊ インターネット上から申し込むこともできます。

URL　http://miraifund.org/?p=385

2. 寄付を入金する

沖縄銀行　鳥堀支店　普通１３７９５９４
琉球銀行　石嶺支店　普通４０９７１０
公益財団法人 みらいファンド沖縄
代表理事　小阪亘
コウエキザイダンホウジン　ミライファンドオキナワ
ダイヒョウリジ　コサカワタル

ゆうちょ銀行　１７０００−１６２０２０５１
公益財団法人　みらいファンド沖縄
コウエキザイダンホウジン　ミライファンドオキナワ

＊ お振込手数料は恐れ入りますがご負担ください。

3. 基金からの助成でバドミントンスクールが開催される！　＊開催の様子はウェブサイトでも紹介しています。

4. 報告を受ける

＊ 領収証を希望された方には、入金を確認し次第発送しています。

＊ ご希望いただいた方に報告書（本通信）の次号をお送りします。

お問い合わせ：みらいファンド沖縄
903-0812 那覇市首里当蔵町 1-11-20 新垣ビル 1F
TEL. 098-884-1123　　FAX. 098-884-1124
office@miraifund.org　　http://miraifund.org

みらいファンド沖縄は「公益財団法人」です。公益財団法人への寄付は、税制優遇（寄付金控除／損金算入）の対象となります（いずれも確定申告が必要）。控除の計算方法など詳しくは、お近くの税務署や県・市町村の税務課へお確かめください。

沖縄離島バドミントンスクール通信　２号（2011 年４月～2012 年３月の報告）　　発行日：2012 年５月
発行：沖縄離島バドミントンスクール実行委員会（代表：大見謝恒章）　発行協力：公益財団法人みらいファンド沖縄